

CF014218 US/
09/484.432 /sug

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application: 1999年12月24日

出 願 番 号

Application Number: 平成11年特許願第366624号

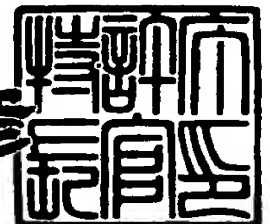
出 願 人

Applicant (s): キヤノン株式会社

2000年 2月14日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤 隆彦



出証番号 出証特2000-3006096

【書類名】 特許願

【整理番号】 4094017

【提出日】 平成11年12月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G02F 1/00

【発明の名称】 画像表示装置および方法

【請求項の数】 23

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社
内

 【氏名】 安藤 宗棋

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社
内

 【氏名】 嗟峨野 治

【特許出願人】

 【識別番号】 000001007

 【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100086287

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 伊東 哲也

【選任した代理人】

 【識別番号】 100103931

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 関口 鶴彦

【先の出願に基づく優先権主張】

 【出願番号】 平成11年特許願第 45531号

 【出願日】 平成11年 2月23日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 002048

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9703596

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像表示装置および方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子と、前記信号を発生する信号回路とを有しており、前記信号回路は、各配線の隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さに応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力するものであることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】 前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さを有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、隣接配線に印加される信号に対応する輝度信号の値に基づいて補正された値を有する信号に応じて前記変調回路で発生される信号である請求項 1 に記載の画像表示装置。

【請求項 3】 前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さを有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、前記隣接配線に出力される信号のハイレベル期間の長さに基づいて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号である請求項 1 に記載の画像表示装置。

【請求項 4】 前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル期間の立ち上がり時刻が同一の信号を印加するものである請求項 1 乃至 3 いずれかに記載の画像表示装置。

【請求項 5】 前記信号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、その長さよりも隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さが短い場合に、長くする補正を行うものである請求項 4 に記載の画像表示装置。

【請求項 6】 前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル信号の立ち下がり時刻が同一の信号を印加するものである請求項 1 乃至 3 いずれかに記載の画像表示装置。

【請求項 7】 前記信号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、その長さよりも隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さ

が短い場合に、短くする補正を行うものである請求項 6 に記載の画像表示装置。

【請求項 8】 複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子と、前記信号を発生する信号回路とを有しており、前記信号回路は、各配線に印加される信号のハイレベル期間内における隣接配線に印加される信号のレベル変化の回数に応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力するものであることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 9】 前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さを有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、隣接配線に印加される信号に対応する輝度信号の値に基づいて補正された値を有する信号に応じて前記変調回路で発生される信号である請求項 8 に記載の画像表示装置。

【請求項 10】 前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さを有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、前記隣接配線に出力される信号のレベル変化の回数に基づいて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号である請求項 8 に記載の画像表示装置。

【請求項 11】 前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル期間の立ち上がり時刻が同一の信号を印加するものである請求項 8 乃至 10 いずれかに記載の画像表示装置。

【請求項 12】 前記信号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、そのハイレベル期間において隣接配線に印加される信号の立ち下がりがあったときに、長くする補正を行うものである請求項 11 に記載の画像表示装置。

【請求項 13】 前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル信号の立ち下がり時刻が同一の信号を印加するものである請求項 8 乃至 10 いずれかに記載の画像表示装置。

【請求項 14】 前記信号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、そのハイレベル期間において隣接配線に印加される信号の立ち下がりがあったときに、短くする補正を行うものである請求項 13 に記載の画像表

示装置。

【請求項 1 5】 複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子と、前記信号を発生する信号回路とを有しており、前記信号回路は、各配線に対して、隣接配線に印加される信号のレベル変化による輝度変化を抑制するように補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力するものであることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 1 6】 前記信号回路は、各配線に印加される信号のハイレベル期間内における隣接配線に印加される信号のレベル変化による輝度変化を抑制するように補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力するものであることを特徴とする請求項 1 5 に記載の画像表示装置。

【請求項 1 7】 前記複数の表示素子を同時に半駆動状態にする信号を印加する第 2 配線を有する請求項 1 乃至 1 6 いずれかに記載の画像表示装置。

【請求項 1 8】 前記第 2 配線を複数有しており、該複数の第 2 配線のそれぞれに対応して前記複数の表示素子を設けた請求項 1 7 に記載の画像表示装置。

【請求項 1 9】 前記半駆動状態にする信号は複数の第 2 配線を順次選択する走査信号である請求項 1 8 に記載の画像表示装置。

【請求項 2 0】 前記表示素子は電子放出素子からなり、該電子放出素子から放出される電子ビームを蛍光体に照射させて画像を形成する請求項 1 乃至 1 9 いずれかに記載の画像表示装置。

【請求項 2 1】 複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子を用いて画像を表示する画像表示方法であって、各配線の隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さに応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を前記配線に出力して前記表示素子を駆動することを特徴とする画像表示方法。

【請求項 2 2】 複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子を用いて画像を表示する画像表示方法であって、各配線に印加される信号のハイレベル期間内における隣接配線に印加される信号のレベル変化の回数に応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を前記配線に出力して前記表示素子を駆動することを特徴とする画像表示方法。

【請求項 2 3】 複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子を用いて画像を表示する画像表示方法であって、各配線に対して、隣接配線に印加される信号のレベル変化による輝度変化を抑制するように補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力して前記表示素子を駆動することを特徴とする画像表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、表示素子を用いて画像表示を行う画像表示装置および画像表示方法に関わるものである。特に好適には、平面上に画像を形成する構成に関わる。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

図 1 5 は、変調信号の駆動開始時刻が同一であるパルス幅変調により映像を表示する従来の画像表示装置の構成を示す。図 1 6 は、この装置における動作のタイミングを示す。図 1 5 において、1 は装置の動作タイミングを生成するタイミング制御部、2 は入力された映像信号 S 1 を画素毎の輝度を表すデジタル信号 S 2 に変換する A/D コンバータ、4 は行方向と列方向に直行する配線がされており、配線の交点に表示素子が配置されている表示パネル、3 は表示パネル 4 の行選択線をコントロールする行選択制御部、5 はデジタル化された映像信号 S 2 を分配するシフトレジスタ、6 はシフトレジスタ 5 によって配分される輝度信号をパルス幅変調して表示輝度の制御を行う PWM ジェネレータ、7 はシフトレジスタ 5 および PWM ジェネレータ 6 を有する列駆動制御部である。

【0 0 0 3】

この構成において、入力映像信号 S 1 は、A/D コンバータ 2 によって画素毎の輝度を表すデジタル信号 S 2 に変換され、シフトレジスタ 5 によって各画素に対応する PWM ジェネレータ 6 に転送される。PWM ジェネレータ 6 はタイミング制御部 1 からの信号によって輝度信号をパルス長に変調し、表示パネル 4 の列配線を駆動する。これと同時に、行選択制御部 3 によって表示すべき画素に対応する行を順次駆動する。これによって各素子が映像信号に対応して駆動される。

【0 0 0 4】

PWMジェネレータ 6 の構成を図 1 7 に、状態遷移を図 1 8 に、動作のタイミングを図 1 9 に示す。図 1 7 において、1 0 はクロックパルス S 1 0 を供給するクロックジェネレータである。1 1 はダウンカウンタであり、C K 端子にクロックパルスが入力されると、不図示の内部レジスタ c t の値を 1 減算し、カウンタの値が 0 になるとカウント動作を停止して N Z 端子をハイレベルにする。また、L O A D 端子にパルスが入力されると、D A T A 入力の値を内部レジスタにロードし、カウント動作を再開する。1 2 は出力ドライバであり、カウンタ 1 1 の N Z 端子のレベルを入力として、表示パネル 4 を駆動する。

【0 0 0 5】

ダウンカウンタ 1 1 の L O A D 端子に入力される S 1 1 は、輝度信号 S 1 2 のロードのタイミング信号であり、水平同期信号もしくはそれを基にした信号である。D A T A 端子に入力される輝度信号 S 1 2 はデジタル化された輝度信号である。S 1 3 (図 1 9) はカウンタ 1 1 内のレジスタ c t の値である。S 1 4 は内部レジスタ S 1 3 が 0 以外のときにハイレベルになる信号である。出力ドライバ 1 2 から出力される S 1 5 は信号 S 1 4 に従って出力される変調信号である。

【0 0 0 6】

図 1 5 より、PWMジェネレータ 6 は、以上の構成および動作により、シフトレジスタ 5 からの輝度信号をパルスの長さに変調してパネル 4 に出力する。

【0 0 0 7】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、好適な画像表示が可能な画像表示装置を実現すること、及び好適な画像表示が可能な画像表示方法を実現することを課題とする。例えば、図 1 5 に示した構成においては、表示パネル 4 の各配線同士には配線間容量と呼ばれる浮遊容量が存在するため、隣り合った 3 本の配線に図 2 0 に示すような駆動波形を加えようとしても、配線間容量によるクロストークによって実際には図 2 1 に示すような乱れた波形が素子に加えられる。これでは実効的なパルス長が変化したことになるため、精度よくパルス幅変調を行うことは困難である。この現象は、素子の駆動方法が定電流駆動のときに、特に顕著に見られるようになる。

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

本発明は上述した課題を解決するためになされたものである。

第一に、本発明に係る画像表示装置は以下のように構成される。

複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子と、前記信号を発生する信号回路とを有しており、前記信号回路は、各配線の隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さに応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力するものであることを特徴とする画像表示装置。

【0 0 0 9】

ここで、前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さを有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、隣接配線に印加される信号に対応する輝度信号の値に基づいて補正された値を有する信号に応じて前記変調回路で発生される信号であるとよい。

【0 0 1 0】

また、隣接配線に印加される信号に対応する輝度信号の値によって隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さがわかるので、それに基づいて変調回路に入力する信号の値を補正することができ、該補正された信号に基づいたハイレベル期間の長さを有する信号を変調回路で発生することができる。

【0 0 1 1】

また、前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さを有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、隣接配線に出力される信号のハイレベル期間の長さに基づいて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号としてもよい。

【0 0 1 2】

ここで、隣接配線に出力される信号のハイレベル期間の長さに基づいて補正する際には、該ハイレベル期間の長さそのものを直接的に検知する必要はない。具体的には、ある配線の隣接配線側に出力される信号を検知、特に信号のレベル

の変化を検知することによって、隣接配線に印加される信号のレベル変化による当該配線に印加される信号のレベルへの影響の程度を予測できるので、それにし
たがって、当該配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを補正することが
できる。

【 0 0 1 3 】

また、前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル期
間の立ち上がり時刻が同一の信号を印加するものであるとよい。ここで、前記信
号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、その長さより
も隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さが短い場合に、長くする補
正を行うものであるとよい。

【 0 0 1 4 】

また、前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル信
号の立ち下がり時刻が同一の信号を印加するものであるとよい。ここで、前記信
号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、その長さより
も隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さが短い場合に、短くする補
正を行うものであるとよい。

【 0 0 1 5 】

第二に、本発明に係る画像表示装置は以下のように構成される。

複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数
の表示素子と、前記信号を発生する信号回路とを有しており、前記信号回路は、
各配線に印加される信号のハイレベル期間内における隣接配線に印加される信号
のレベル変化の回数に応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出
力するものであることを特徴とする画像表示装置。

【 0 0 1 6 】

ここで、隣接配線に印加される信号のレベル変化の回数に応じて補正を行う際
には、隣接配線に印加される信号のレベル変化の回数のうちの、当該配線に印加
される信号のレベルに影響を与えるもののみを考慮すれば足りる。

【 0 0 1 7 】

また、前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さ

を有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、隣接配線に印加される信号に対応する輝度信号の値に基づいて補正された値を有する信号に応じて前記変調回路で発生される信号であるといふ。

【0018】

ある配線の隣接配線に印加される信号に対応する輝度信号の値によって当該配線に印加される信号のハイレベル期間内に隣接配線に印加される信号のレベル変化の発生回数がわかるので、それに基づいて変調回路に入力する信号の値を補正することができ、該補正された信号に基づいたハイレベル期間の長さを有する信号を変調回路で発生することができる。

【0019】

また、前記信号回路は、所定の値を有する信号に応じたハイレベル期間の長さを有する信号を発生する変調回路を有しており、前記補正されたハイレベル期間の長さを有する信号は、前記隣接配線に出力される信号のレベル変化の回数に基づいて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号としてもよい。ある配線に印加される信号のハイレベル期間内に生じる当該配線の隣接配線側に出力される信号のレベルの変化を検知することによって、当該配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを補正することができる。

【0020】

また、前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル期間の立ち上がり時刻が同一の信号を印加するものであるといふ。ここで、前記信号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、そのハイレベル期間において隣接配線に印加される信号の立ち下がりがあったときに、長くする補正を行うものであるといふ。

【0021】

また、前記信号回路は、前記各配線に対して、所定の期間内に、ハイレベル信号の立ち下がり時刻が同一の信号を印加するものであるといふ。ここで、前記信号回路は、前記配線に印加される信号のハイレベル期間の長さを、そのハイレベル期間において隣接配線に印加される信号の立ち上がりがあったときに、短くす

る補正を行うものであるとよい。

【0022】

第三に、本発明に係る画像表示装置は以下のように構成される。

複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子と、前記信号を発生する信号回路とを有しており、前記信号回路は、各配線に対して、隣接配線に印加される信号のレベル変化による輝度変化を抑制するように補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力するものであることを特徴とする画像表示装置。

【0023】

ここで、前記信号回路は、各配線に印加される信号のハイレベル期間内における隣接配線に印加される信号のレベル変化による輝度変化を抑制するように補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力するものであるとよい。

【0024】

以上説明した各発明において、前記複数の表示素子を同時に半駆動状態にする信号を印加する第2配線を有する構成を好適に採用し得る。ここで半駆動状態とは、そのままでは表示素子は実質的に駆動状態にならないが、信号回路からの信号がハイレベルになることによって表示素子を駆動状態にすることができる状態のことをさす。半駆動状態にする信号が印加されているが信号回路からの信号が所定のハイレベルに達していない状態、および、信号回路からの信号が所定のハイレベルに達しているが半駆動状態にする信号が印加されていない状態、においては、表示素子が実質的に駆動されないように設定するとよい。

【0025】

また、前記第2配線を複数有しており、該複数の第2配線のそれぞれに対応して前記複数の表示素子を設けた構成が好ましい。前記信号回路が信号を印加する複数の配線と、複数の第2配線とは互いに交差する方向に概略沿って配置されていると好適である。また、前記信号回路が信号を印加する複数の配線と複数の第2配線との複数の交点に対応して複数の表示素子を設けるのが好適である。

【0026】

前記半駆動状態にする信号は複数の第2配線を順次選択する走査信号であると

好適である。

【 0 0 2 7 】

また、前記表示素子は電子放出素子からなり、該電子放出素子から放出される電子ビームを蛍光体に照射させて画像を形成する物を好適に採用し得る。ここで、電子放出素子としては、表面伝導型電子放出素子や、F E 型電子放出素子や、M I M 型電子放出素子を用いることができる。所定期間内に電子放出素子から放出され蛍光体に照射される電子の量を前記信号回路からの信号で制御することによって、所望の輝度を得ることができる。

【 0 0 2 8 】

なお、本発明は、本発明に係るハイレベル期間の補正に加えて更に他の補正を行う構成を排除するものではない。また、信号のハイレベルとは、素子が実質的に駆動されない状態や素子の実質的な駆動状態が低く実効的に機能しない状態に対応する信号レベルに対して実質的に画像を表示するために所望程度高い駆動状態に対応する信号レベルのことをさすのであって、信号の電位が低い状態に対して高い状態のみを指すのではない。

【 0 0 2 9 】

第四に、本発明に係る画像表示方法は以下のように構成される。

複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子を用いて画像を表示する画像表示方法であって、各配線の隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さに応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を前記配線に出力して前記表示素子を駆動することを特徴とする画像表示方法。

【 0 0 3 0 】

第五に、本発明に係る画像表示方法は以下のように構成される。

複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子を用いて画像を表示する画像表示方法であって、各配線に印加される信号のハイレベル期間内における隣接配線に印加される信号のレベル変化の回数に応じて補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を前記配線に出力して前記表示素子を駆動することを特徴とする画像表示方法。

【0031】

第六に、本発明に係る画像表示方法は以下のように構成される。

複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子を用いて画像を表示する画像表示方法であって、各配線に対して、隣接配線に印加される信号のレベル変化による輝度変化を抑制するように補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力して前記表示素子を駆動することを特徴とする画像表示方法。

【0032】

なお、上述してきたハイレベル期間の補正を行った結果、配線に印加される信号の長さが変化し、それによって、更に補正が必要な状況となった場合、例えば上述のようなハイレベル期間の補正を行った結果、これまで影響を考慮する必要のなかった隣接配線による影響を受けるようになった場合には、必要に応じて同じステップを繰り返すことにより、更なる補正を行うことができる。

【0033】

【発明の実施の形態】

本発明の好ましい実施形態においては、補正手段は、輝度信号と補正信号を加算する加算手段であり、あるいは補正信号に基づいて変調信号のパルス印加期間を延長するパルス遅延手段である。変換手段はアナログーデジタルコンバータである。そして、行配線を順に選択しながら駆動手段により列配線に駆動信号を加えることによって画像を表示するものである。補正信号発生手段は、各列配線についての補正信号を隣接する列配線の輝度信号または変調信号に基づいて発生させるものである。

【0034】

また、変調手段の変調方式はパルス幅変調（PWM）である。変調手段の変調方式が各列配線の変調信号の駆動開始時刻が同一であるパルス幅変調である場合は、補正信号発生手段は、各列配線の輝度信号を、それが隣接列配線の輝度信号よりも大きいときに増加させる補正信号を発生し、あるいは各列配線の変調信号のパルスを、それが隣接列配線の変調信号のパルスよりも長いときに延長させる補正信号を発生する。変調手段の変調方式が各列配線の変調信号の駆動終了時刻

が同一であるパルス幅変調である場合は、補正信号発生手段は、各列配線の輝度信号を、それが隣接列配線の輝度信号よりも大きいときに減少させる補正信号を発生する。駆動手段は定電流駆動により表示素子を駆動するものである。この場合、特にクロストークによる変調信号の乱れが顕著であるため、本発明が有効となる。表示素子は電子放出素子であり、この電子放出素子から放出される電子ビームを蛍光体に照射させることにより画像が形成される。また、電子放出素子としては、表面伝導型電子放出素子 F E 型電子放出素子、M I M 型電子放出素子等を用いることができる。

【 0 0 3 5 】

【実施例】

〔第 1 の実施例〕

図 1 は、本発明の第 1 の実施例に係る画像表示装置の構成を示す。動作タイミングは図 1 6 で示したものと同様である。図 1 において、1 は装置の動作タイミングを生成するタイミング制御部、2 は入力された映像信号 S 1 を、画素毎の輝度を表すデジタル信号 S 2 に変換する A / D コンバータ、3 は表示パネル 4 の行選択線をコントロールする行選択制御部、4 は行方向と列方向に直交する配線がされており、配線の交点に対応して表示素子が配置されている表示パネル、5 はデジタル化された輝度信号 S 2 を分配するシフトレジスタ、2 6 はシフトレジスタ 5 によって配分される輝度信号をパルス幅変調して表示輝度の制御を行う P W M ジェネレータ、7 はシフトレジスタ 5 および P W M ジェネレータ 2 6 を有する列選択制御部である。

【 0 0 3 6 】

この構成において、入力された映像信号 S 1 は、A / D コンバータ 2 によって画素毎の輝度を表すデジタル信号に変換され、シフトレジスタ 5 によって各画素に対応する P W M ジェネレータ 2 6 に転送される。各 P W M ジェネレータ 2 6 には自配線の輝度信号の他に隣接配線の輝度信号が入力されている。P W M ジェネレータ 2 6 は、タイミング制御部 1 からの信号によって自配線の輝度信号をパルス長に変調し、表示パネル 4 の列配線を駆動する。また、これと同時に行選択制御部 3 によって表示すべき画素に対応する行を順次駆動する。これによって、表

示パネル 4 の各素子が映像信号に対応して駆動される。

【0037】

PWMジェネレータ 2 6 の構成を図 2 に、動作の状態遷移を図 3 に、動作タイミングを図 4 に示す。図 2 において、1 0 はクロックジェネレータであり、クロックパルスの信号 S 1 0 を供給する。1 1 はダウンカウンタであり、CK 端子に信号 S 1 0 のクロックパルスが入力されると、不図示の内部レジスタ c t の値を 1 減算する。そしてカウンタの値が 0 になるとカウント動作を停止し、NZ 端子をハイレベルにする。また、LOAD 端子に信号 S 1 1 のパルスが入力されると、DATA 入力の値を内部レジスタにロードし、カウント動作を再開する。1 2 は出力ドライバであり、カウンタ 1 1 の NZ 端子のレベルを入力として、表示パネル 4 (図 1) を駆動する。1 3 はクロストーク補正部であり、d p および d n 端子に入力される隣接配線の輝度信号 S 1 8 および S 1 9 に基づいて、d 端子に入力される自配線の輝度信号 S 1 7 の補正を行う。

【0038】

信号 S 1 1 は輝度信号 S 1 2 のロードのタイミング信号であり、水平同期信号もしくはそれを基にした信号である。信号 S 1 2 はデジタル化された輝度信号である。図 4 中の信号 S 1 3 はカウンタ 1 1 内のレジスタ c t の値である。カウンタ 1 1 の NZ 端子から出力される信号 S 1 4 は内部レジスタ S 1 3 が 0 以外のときにハイレベルになる信号である。出力ドライバ 1 2 から出力される信号 S 1 5 は信号 S 1 4 に従って出力される変調信号である。クロストーク補正部 1 3 の d 端子に入力される S 1 7 はパルス幅変調が行われる自配線の輝度信号である。

【0039】

クロストークによる波形の乱れは、自配線よりも隣接配線が先にローレベルになると起こる。よって、クロストーク補正部 1 3 では隣接配線の輝度信号 S 1 8 および S 1 9 が自配線の輝度信号 S 1 7 よりも小さい場合に自配線の輝度信号を増やしてパルス長を長くすることによって等価的に補正を行う。具体的には、信号 S 1 7、S 1 8 および S 1 9 の値をそれぞれ d p、d および d n とすると、図 3 にも示されるように、加算手段を用いて $d > d p$ のときに $d = d + 1$ とし、 $d > d n$ のときにも $d = d + 1$ として、輝度信号を 1 階調分増加させる。また、d

d_p かつ $d > d_n$ のときには $d = d + 2$ として輝度信号を2階調分増加させるべくカウンタ11にロードする初期値とする。

【0040】

PWMジェネレータ26は、以上の構成および動作によって、隣接配線のクロストークによる波形の乱れを補正したパルスを出力することができる。

【0041】

本実施例では、1つの隣接配線が先にローレベルになることによって生じる波形の乱れと等価的なパルス幅が1階調分である場合について説明したが、等価的なパルス幅が2階調分等の他の異なる値の場合でも、 $d > d_p$ のときに $d = d + 2$ とするなどにより、同様にして補正することは当然可能である。また、カウンタ11の内部レジスタctは、補正後の信号dが入力されてもオーバフローを起こさない十分な桁を有することは当然必要である。

【0042】

補正信号に基づいて輝度信号を補正することによって、例えば図22に示すように、変調信号に対してクロストークの影響を抑えるような補償パルスが付加される。そしてこれにより、他配線の影響によって乱れた波形が等価的に補正される。したがって、隣り合う配線の波形によるクロストークの影響を抑えた、精度の高いパルス幅変調による駆動が行われる。

【0043】

なお、互いに隣接する3つの配線A、B、Cに対するdの値が例えば99、100、100であったとき、配線Bに印加される信号は、配線Aに印加される信号が先に立ち下がることによって影響を受けるため、上述の補正制御によってカウンタにロードする値は101となる。ところが、それにより、配線Bに印加される信号よりも配線Cに印加される信号の立ち下がりが早くなることになる。よって、これによる影響も緩和したいときには、更に上記補正後の信号値に基づいて同じ補正を行い、配線A、B、Cに対応するカウンタにロードする初期値をそれぞれ99、102、100とすればよい。

【0044】

[第2の実施例]

図 5 は、本発明の第 2 の実施例に係る画像表示装置の構成を示す。この装置は、第 1 の実施例において、輝度信号の補正方法および PWM ジェネレータの構成を変更したものに相当する。すなわち、図 5 において、36 は PWM ジェネレータであり、自配線の輝度信号の他に隣接配線の PWM ジェネレータ 36 の出力が入力されている。その他の構成は第 1 の実施例と同様である。

【0045】

PWM ジェネレータ 36 の構成を図 6 に、状態遷移を図 7 に、動作タイミングを図 8 に示す。図 6 において、21 は図 2 のカウンタ 11 とほぼ同等のカウンタであるが、NZP および NZN 端子が追加されている。NZP および NZN 端子には隣接配線の PWM 出力が入力されている。図 5 では図をわかりやすくするために配線から直接取り出しているように記載しているが、実際にはカウンタ 21 が出力する PWM 信号 S14 が、隣接する PWM ジェネレータ 36 の NZP および NZN 端子に供給される。その他の構成は図 2 の PWM ジェネレータと同様である。

【0046】

この構成において、パルス遅延手段を兼ねるカウンタ 21 はカウントダウンを行い、内部レジスタ *ct* が 0 になったときに NZP および NZN 端子の状態を調べ、NZP および NZN のどちらか一方がローであれば 1 クロック、NZP および NZN 両方がローであれば 2 クロックの等価パルスを出し、パルス長を延長して、波形の乱れを補正する。その他の構成および動作は第 1 の実施例と同様である。

【0047】

[第 3 の実施例]

第 1 の実施例では、変調信号の駆動開始時刻が同一である変調波形を出力する PWM ジェネレータを用いたが、本実施例では、図 12 に示すような、変調信号の駆動終了時刻が同一となる変調波形を出力する PWM ジェネレータを用いている。この場合でも、ほぼ同様の構成により変調波形の乱れを補正することができる。本実施例における PWM ジェネレータの場合は、図 13 に示すように、パルスの実効値が増える方向に波形が乱れるため、図 14 に示すように、PWM パル

スを短くするように補正を行う。装置全体の構成図は、第 1 の実施例と同様である。

【0048】

本実施例で用いる PWM ジェネレータの構成を図 9 に、状態遷移を図 10 に、タイミングを図 11 にそれぞれ示す。図 9 において、14 はコンパレータであり、 $(IN+) \geq (IN-)$ のときに 1、 $(IN+) < (IN-)$ のときに 0、そして特殊な状態として $(IN-) = 0$ のときは常に 0 を OUT 端子に出力する。31 はダウンカウンタであり、LOAD 入力が高レベルになると、内部のカウンタ ct に 255 を代入し、クロック入力 CK に基づいてダウンカウントを行う。カウンタ ct が 0 になったらカウント動作は停止する。カウンタ ct の値 S22 は常にコンパレータ 14 の IN- 端子に入力されている。33 はクロストーク補正部であり、自配線の輝度信号 S17、隣接配線の輝度信号 S18 および S19 が入力される。輝度信号 S17、S18 および S19 の値をそれぞれ d_p 、 d および d_n とすると、DATA 端子には、 $d \leq d_p$ かつ $d \leq d_n$ のときには $DATA = d$ 、 $d > d_p$ かつ $d > d_n$ のときには $DATA = d - 2$ 、それ以外の場合は $DATA = d - 1$ が出力される。

【0049】

水平同期信号 S11 がカウンタ 31 に入力されると、内部カウンタ ct が 255 よりカウントダウンされる。そして、クロストーク補正部 33 の出力 S12 とカウンタ 31 の出力 S22 をコンパレータ 14 において比較することによって、図 14 に示すような PWM 出力 S14 が得られる。

【0050】

その他の構成および動作は第 1 の実施例と同様である。

以上述べてきた実施例 1～3 では、隣接配線による影響のみを考慮するものとしたが、必要であれば隣接配線だけでなく、該隣接配線の隣接配線といった他の配線に印加される信号のレベル変化による影響まで考慮してもよい。

【0051】

また、上述の実施例によれば、各列配線についての補正信号を発生させ、これに基づいて輝度信号または変調信号を補正するようにしたため、平行に配置され

た列配線間の干渉による駆動波形の乱れを、等価的に補正することが可能となる。

【0052】

なお、本発明が適用できる構成としては、以上述べてきた実施例 1～3 で示した構成に限られるものではない。実質的に隣接する配線に印加される信号のレベル変化によって信号レベルが影響を受ける構成においては、好適に用いることができる。

【0053】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、画像表示装置の配線間での干渉による信号の乱れによる影響を抑制することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の第 1 の実施例に係る画像表示装置の構成を示すブロック図である。

【図 2】 図 1 の装置の PWMジェネレータの構成を示すブロック図である。

【図 3】 図 2 の PWMジェネレータの動作の状態遷移図である。

【図 4】 図 2 の PWMジェネレータの動作のタイミング図である。

【図 5】 本発明の第 2 の実施例に係る画像表示装置の構成を示すブロック図である。

【図 6】 図 5 の装置の PWMジェネレータの構成を示すブロック図である。

【図 7】 図 6 の PWMジェネレータの動作の状態遷移図である。

【図 8】 図 6 の PWMジェネレータの動作のタイミング図である。

【図 9】 本発明の第 3 の実施例に係る PWMジェネレータの構成を示すブロック図である。

【図 10】 図 9 の PWMジェネレータの動作の状態遷移図である。

【図 11】 図 9 の PWMジェネレータの動作のタイミング図である。

【図 12】 図 9 の PWMジェネレータによる変調波形を示す波形図である。

【図 1 3】 図 1 2 の波形が、パルスの実効値が増える方向に乱れる様子を
示す波形図である。

【図 1 4】 図 1 3 の波形を補正する様子を示す波形図である。

【図 1 5】 従来例に係る、マトリックス表示パネルをパルス幅変調によっ
て駆動する表示装置の構成を示すブロック図である。

【図 1 6】 図 1 5 の表示装置の動作のタイミング図である。

【図 1 7】 図 1 5 の装置の PWM ジェネレータの構成を示すブロック図で
ある。

【図 1 8】 図 1 5 の装置の PWM ジェネレータの動作の状態遷移図である

【図 1 9】 図 1 5 の装置の PWM ジェネレータの動作のタイミング図であ
る。

【図 2 0】 図 1 5 の装置における隣り合った 3 本の配線の駆動波形例を示
す波形図である。

【図 2 1】 図 2 0 の波形の、隣接配線の駆動波形のクロストークによる乱
れの例を示す波形図である。

【図 2 2】 図 2 1 のクロストークによる波形の乱れを補正する補償パルス
を入れた駆動波形を示す波形図である。

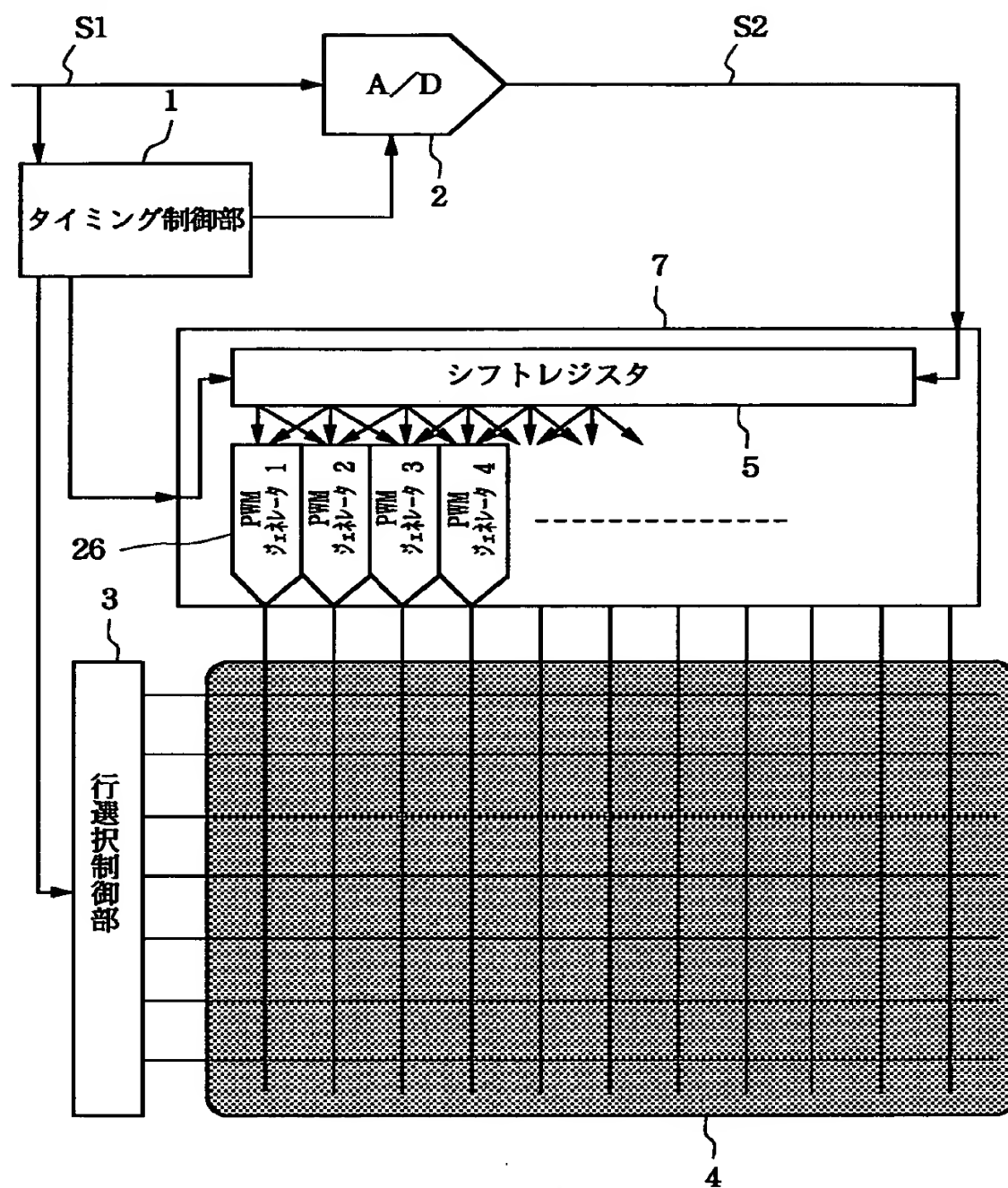
【符号の説明】 1 : 入力された映像信号を基に装置の各部分の動作のタイ
ミング信号を生成するタイミング制御部、 2 : 映像信号をデジタル信号に変換す
る A/D コンバータ、 3 : 表示パネル 4 の行選択信号を出力する行選択制御部、
4 : マトリックス状に表示素子を配置した表示パネル、 5 : 輝度信号を列配線毎
の PWM ジェネレータに振り分けるシフトレジスタ、 6 : 列配線の駆動を行う P
WM ジェネレータ、 7 : 表示パネル 4 の列配線を駆動する列駆動制御部、 1 0 :
PWM 信号の基準となるクロックジェネレータ、 1 1 : PWM 波形を出力するカ
ウンタ、 1 2 : 表示パネルの駆動を行うドライバ、 1 3 : 自配線と隣接配線の輝
度信号から補正された自配線の輝度信号を出力するクロストーク補正部、 2 1 :
PWM 波形を出力するカウンタ、 2 6 : PWM ジェネレータ、 3 1 : PWM 波形

を出力するカウンタ、3 3：自配線と隣接配線の輝度信号から補正された自配線の輝度信号を出力するクロストーク補正部、3 6：PWMジェネレータ、S 1：入力された映像信号、S 2：映像信号を画素毎のデジタル信号に変換した輝度信号、S 1 0：クロック信号、S 1 1：水平同期信号、S 1 2：パルス幅変調する輝度信号、S 1 3：カウンタ内のレジスタの値、S 1 4：カウンタの出力、S 1 5：列配線の駆動波形、S 1 7：補正前の輝度信号、S 1 8：隣接配線の輝度信号、S 1 9：隣接配線の輝度信号、S 2 0：隣接配線のPWM出力波形、S 2 1：隣接配線のPWM出力波形、S 2 2：カウンタ 3 1の出力。

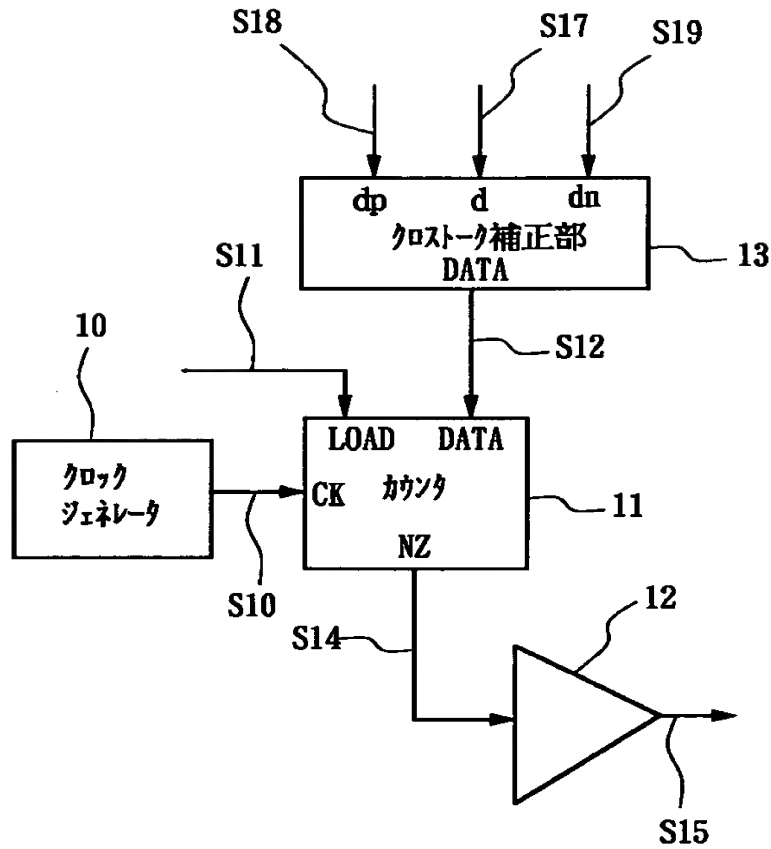
【書類名】

図面

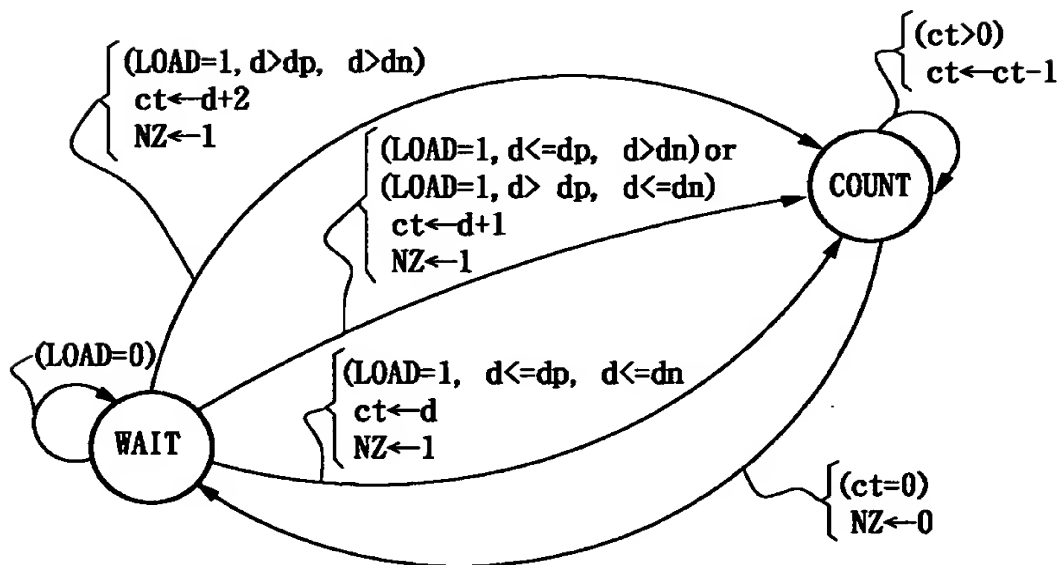
【図 1】



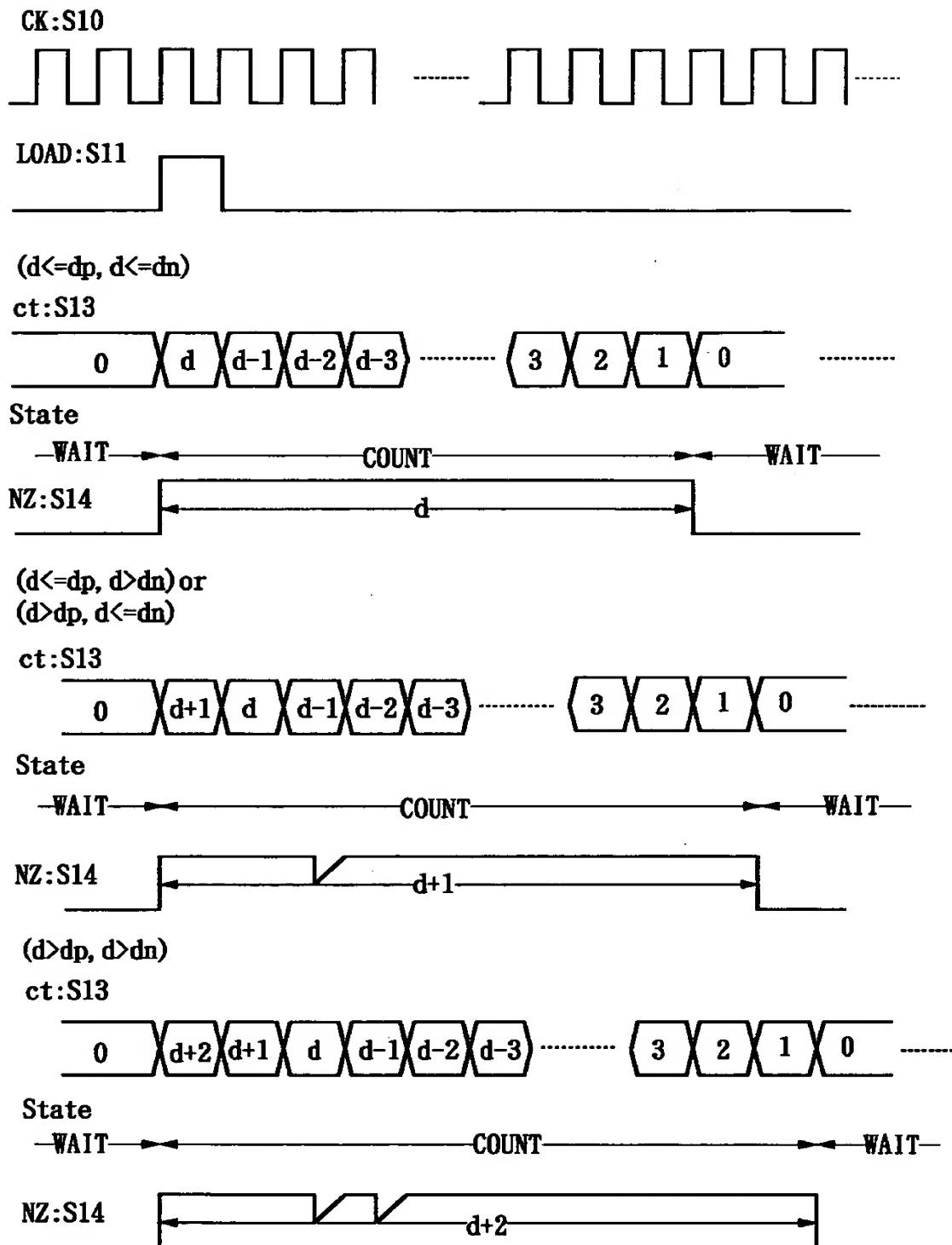
【図 2】



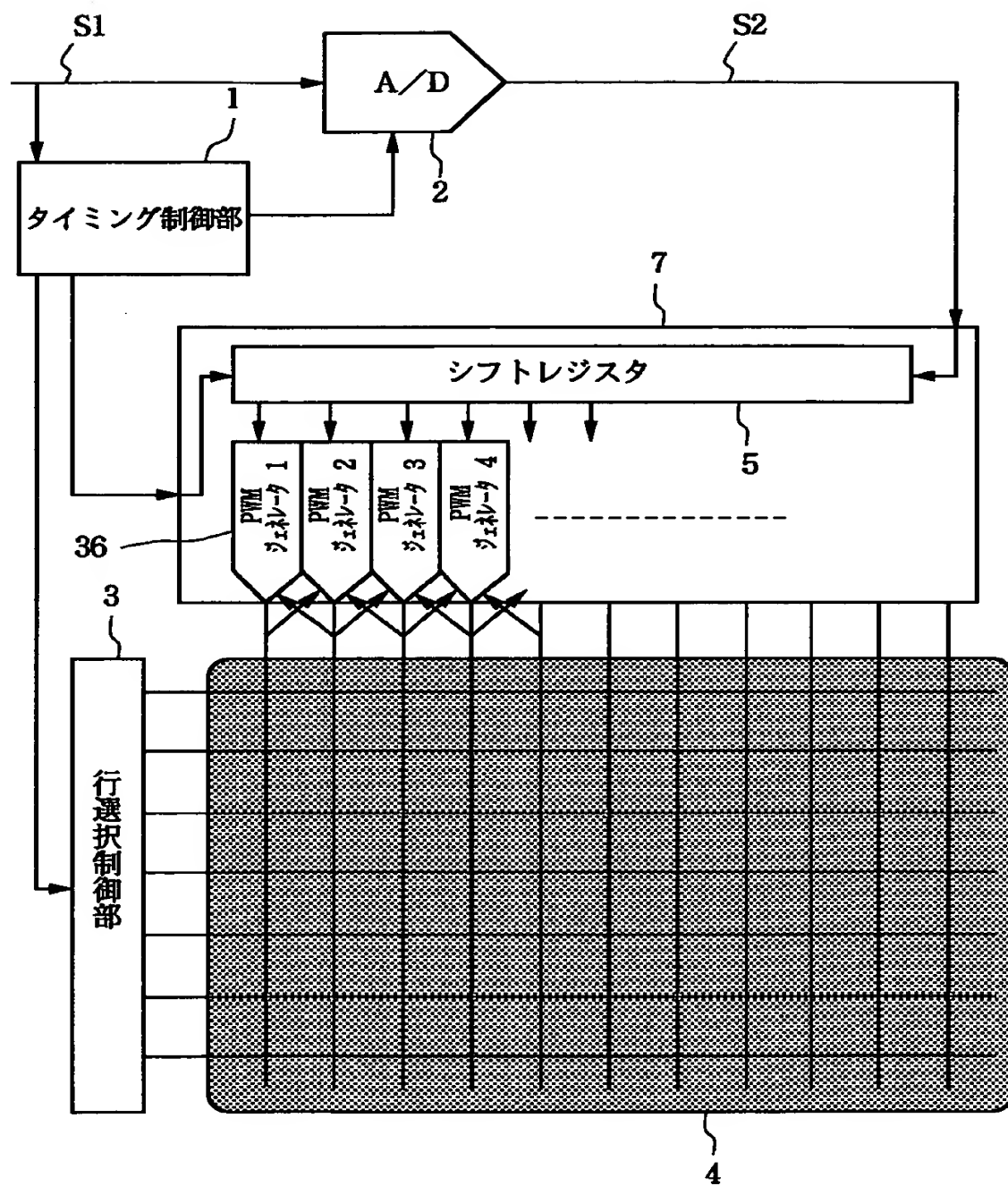
【図 3】



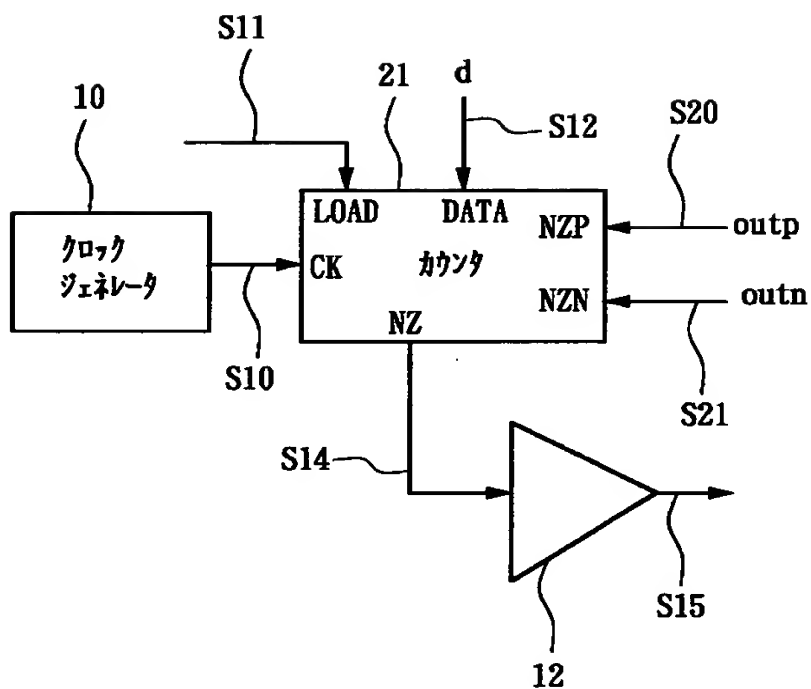
【図 4】



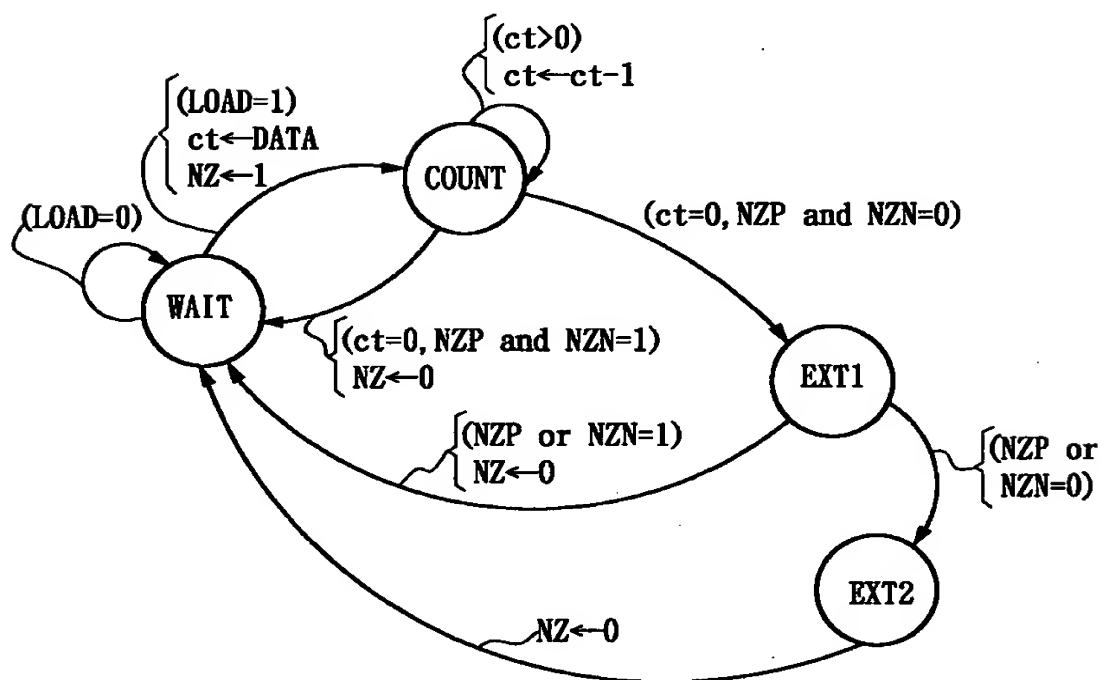
【図 5】



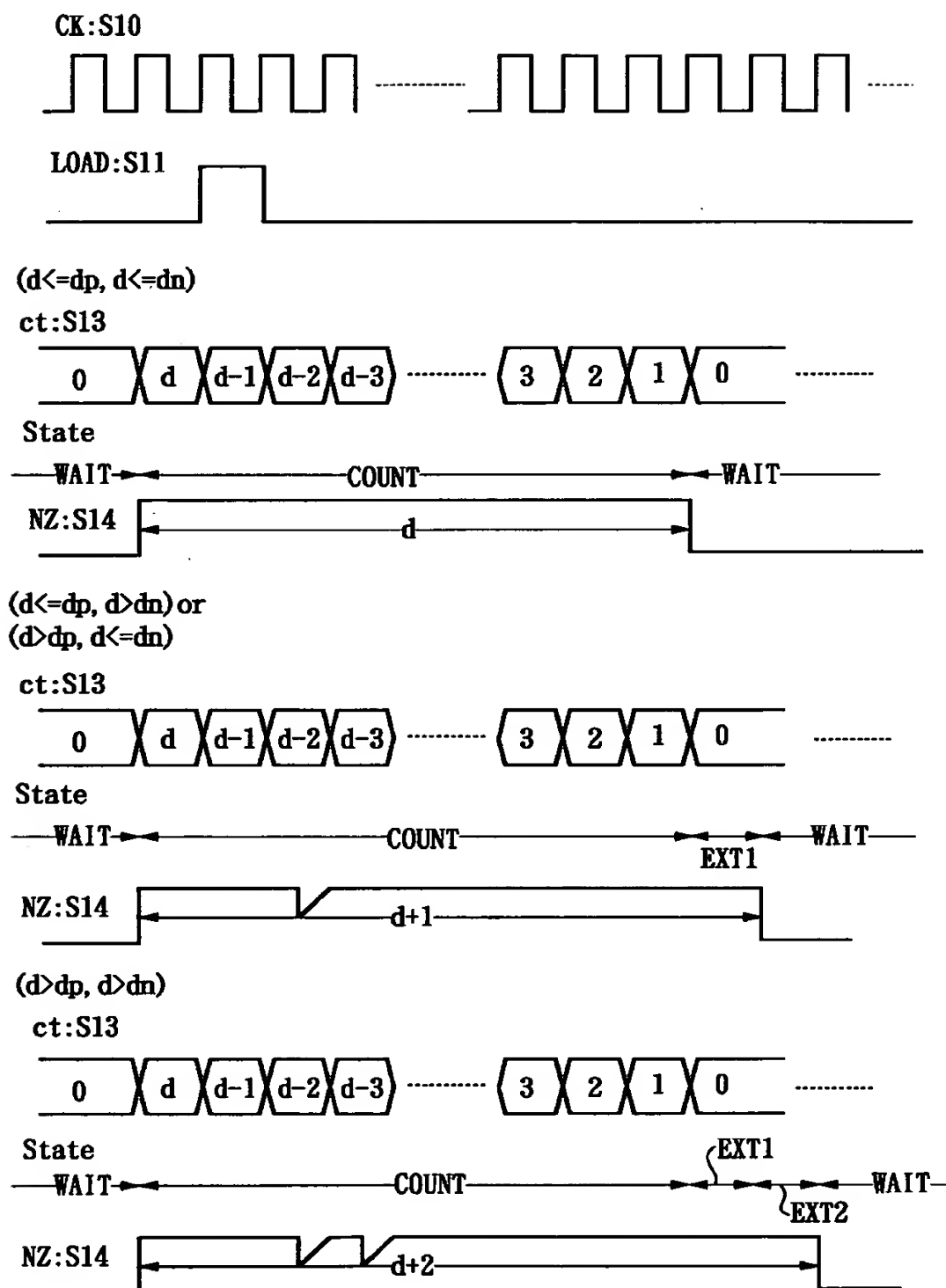
【図 6】



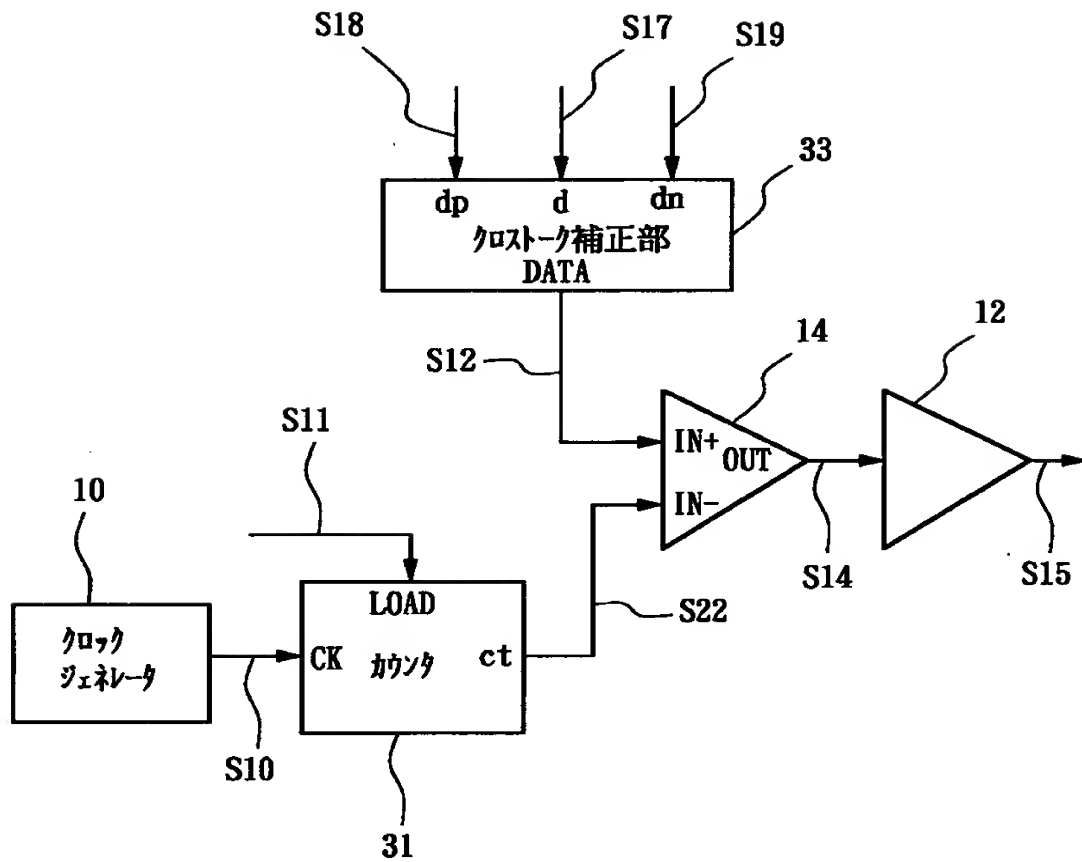
【図 7】



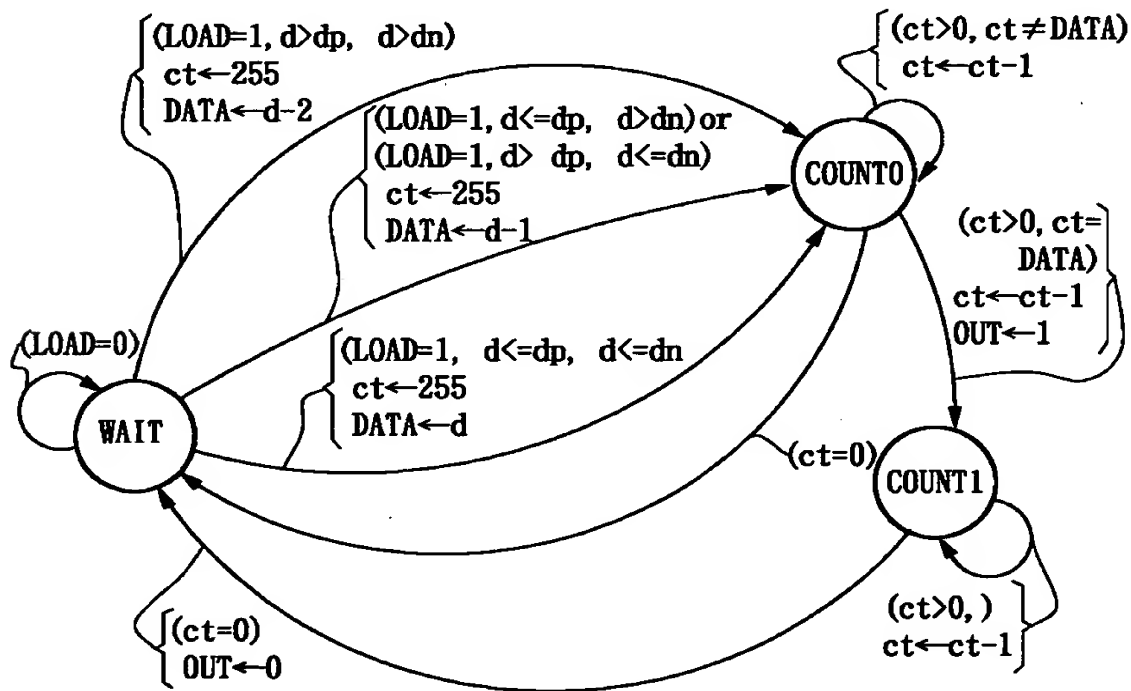
【図 8】



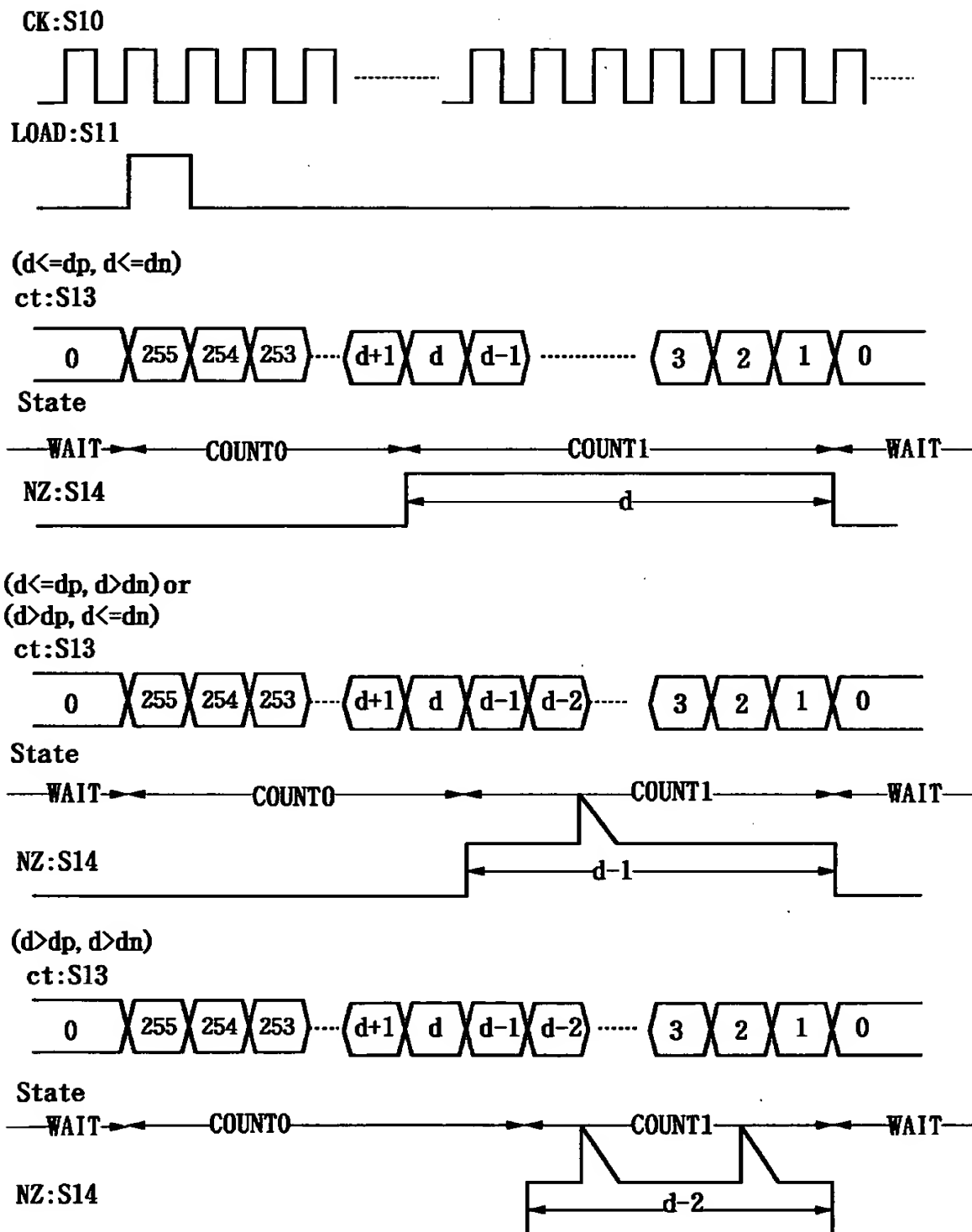
【図 9】



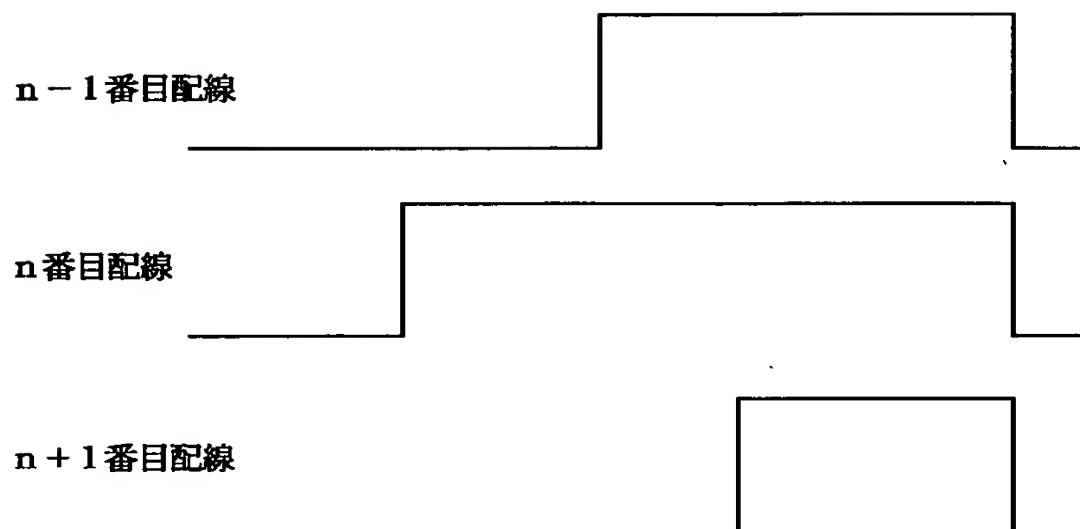
【図 10】



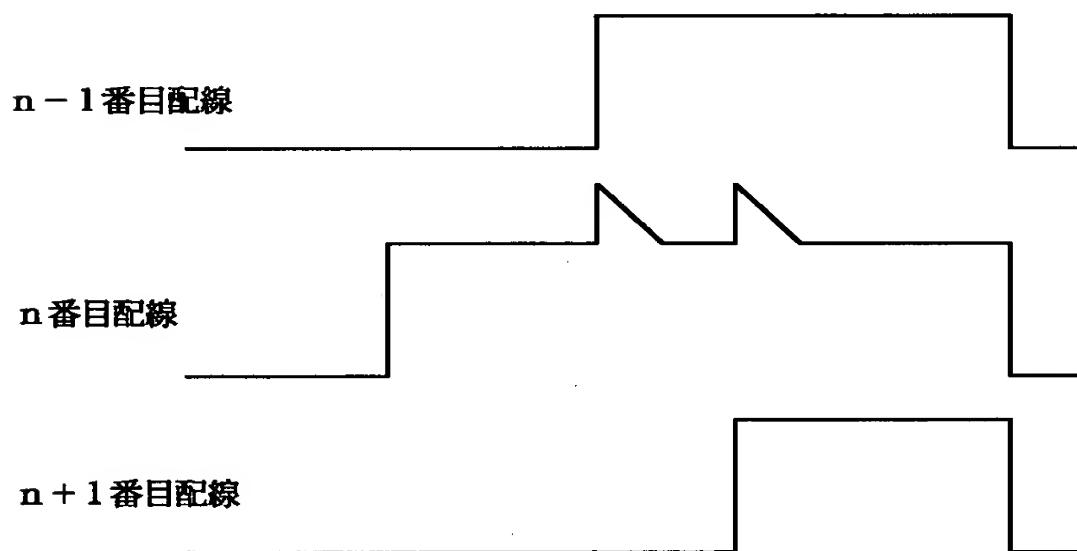
【図 1 1】



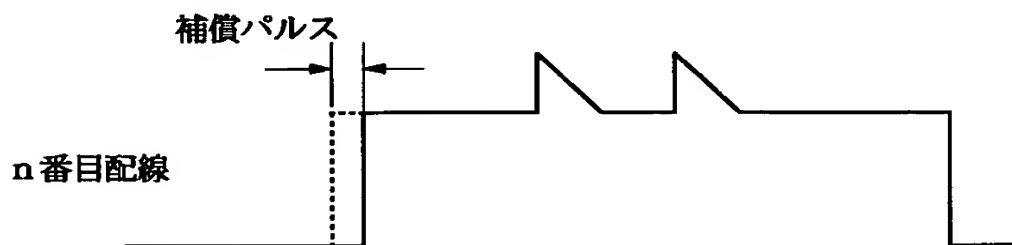
【図 1 2】



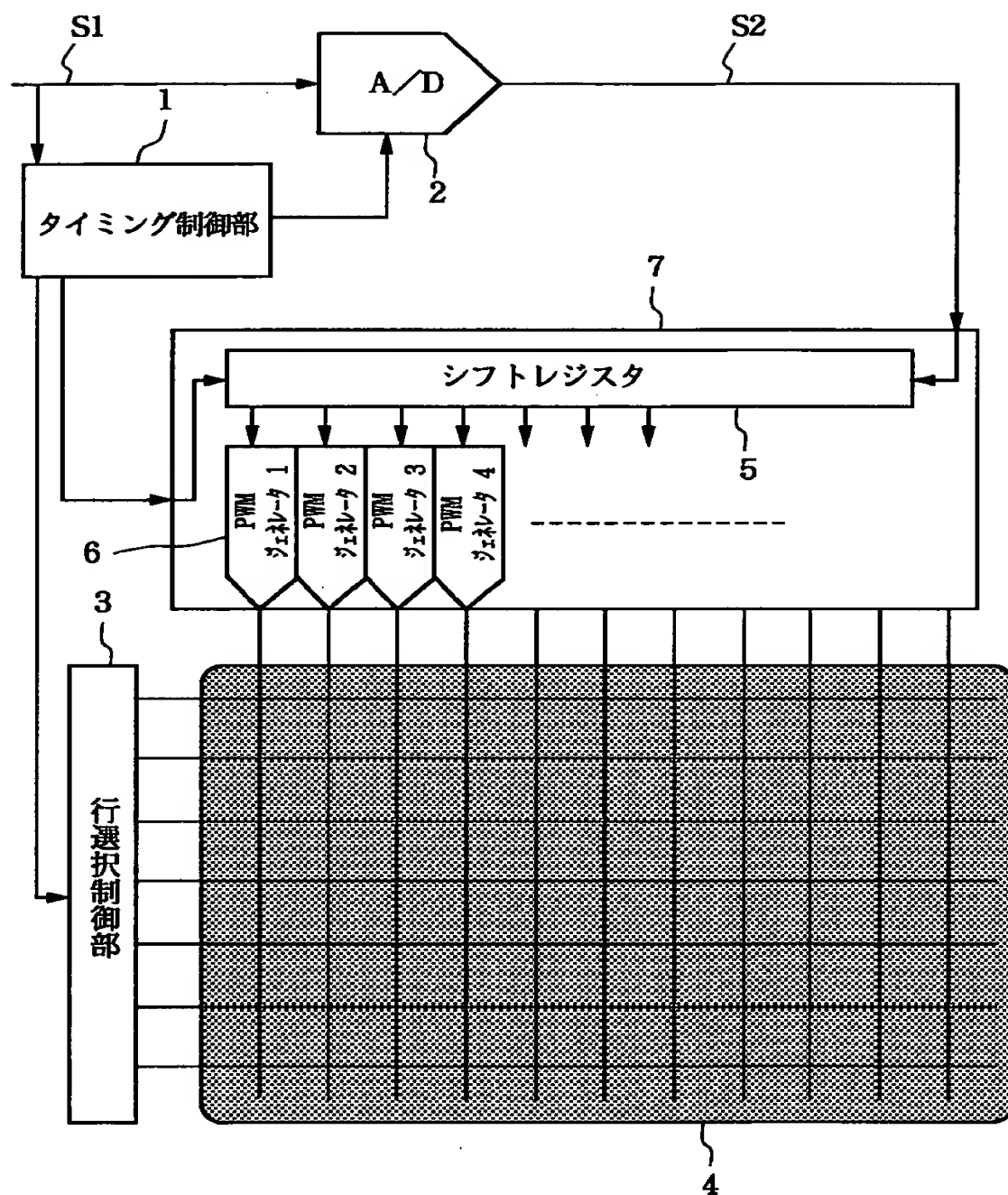
【図 1 3】



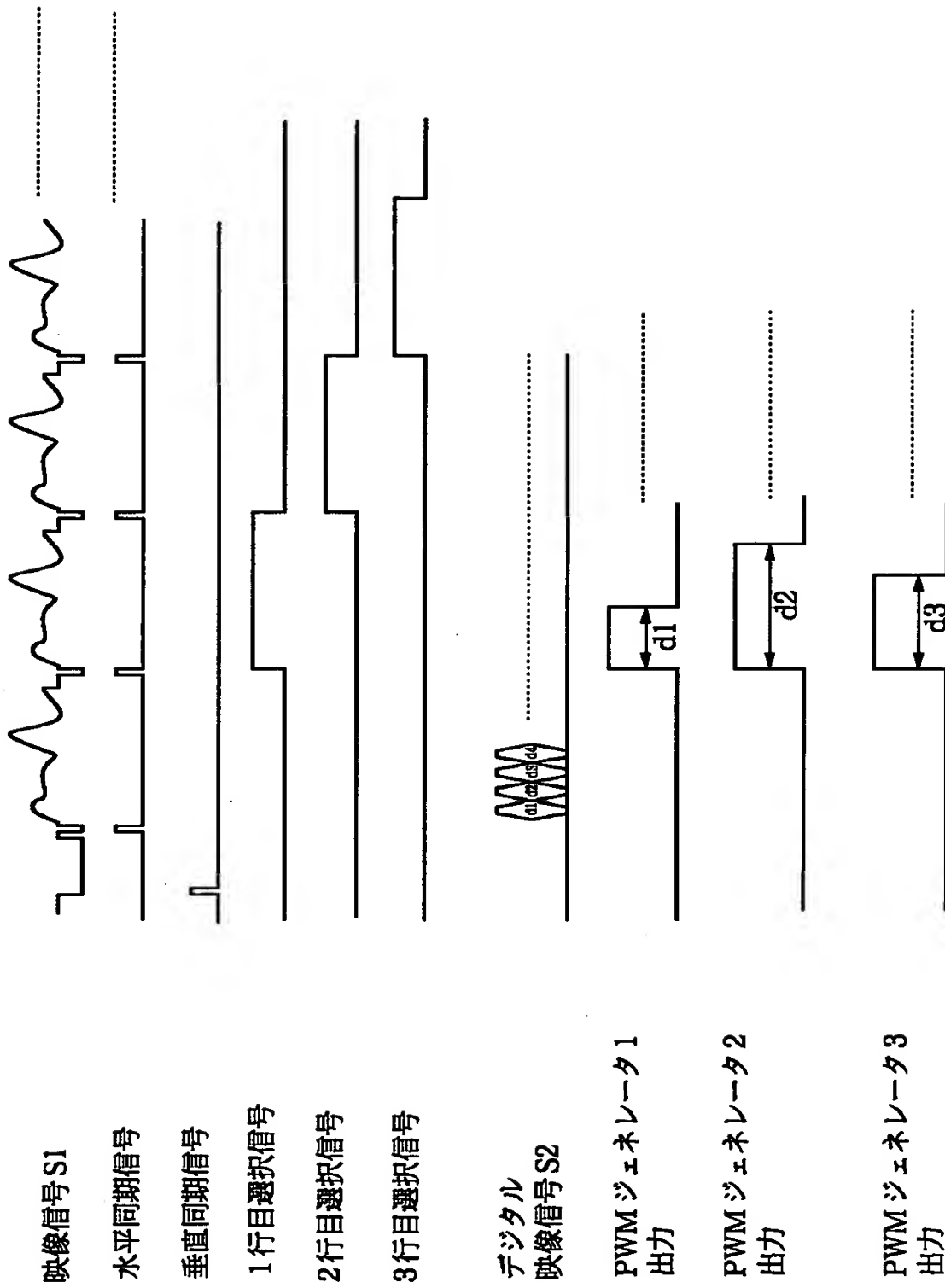
【図 1 4】



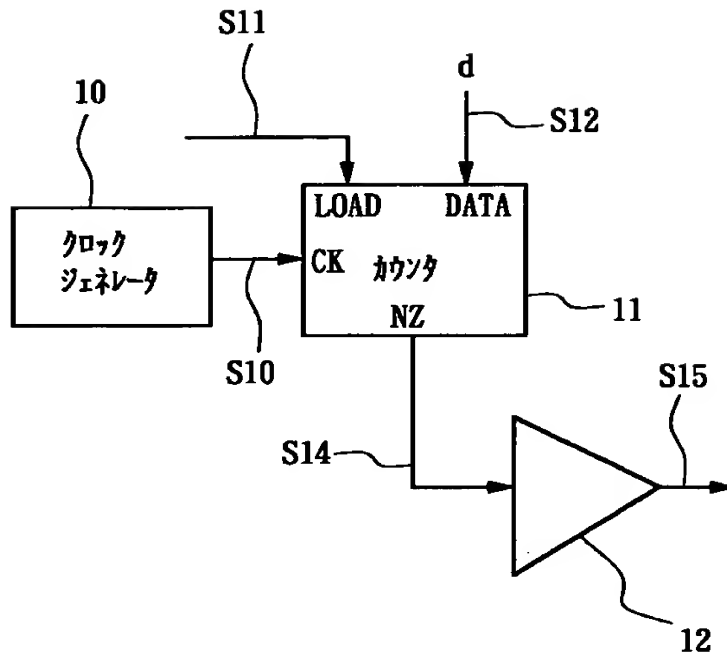
【図 1 5】



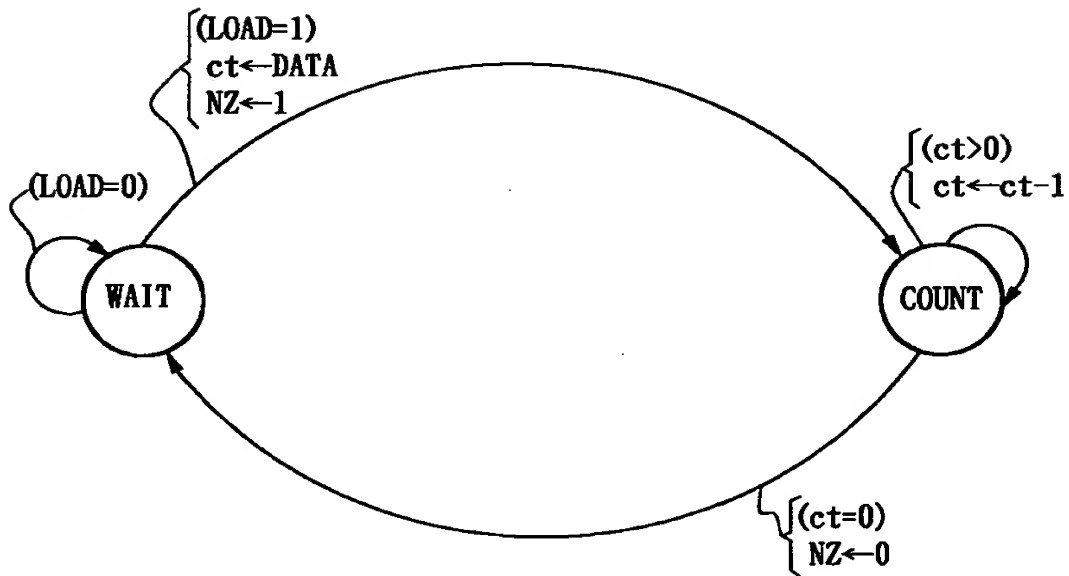
【図 1 6】



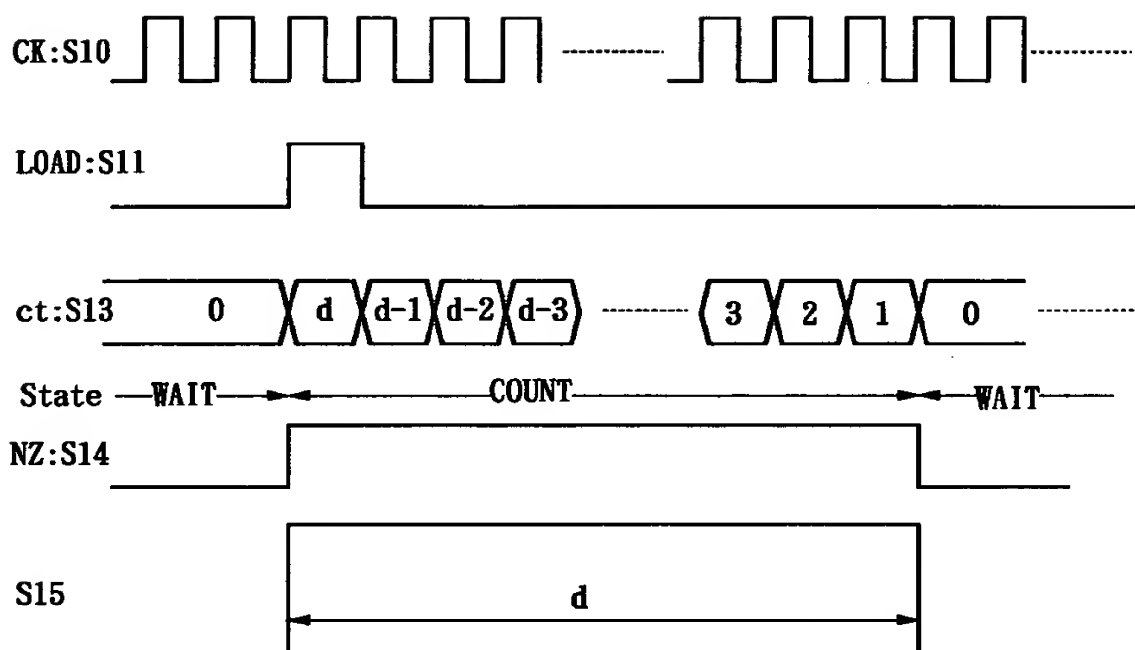
【図 1 7】



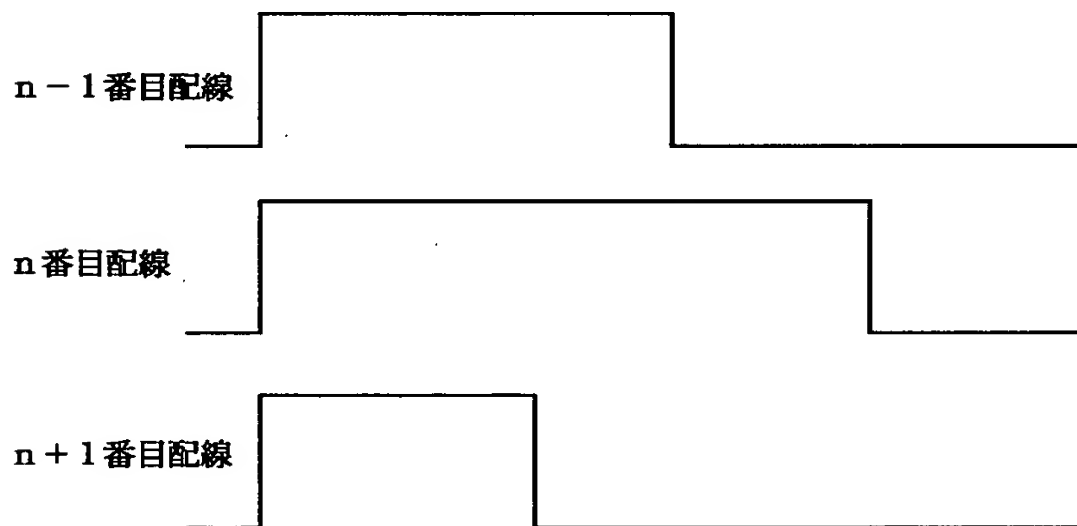
【図 1 8】



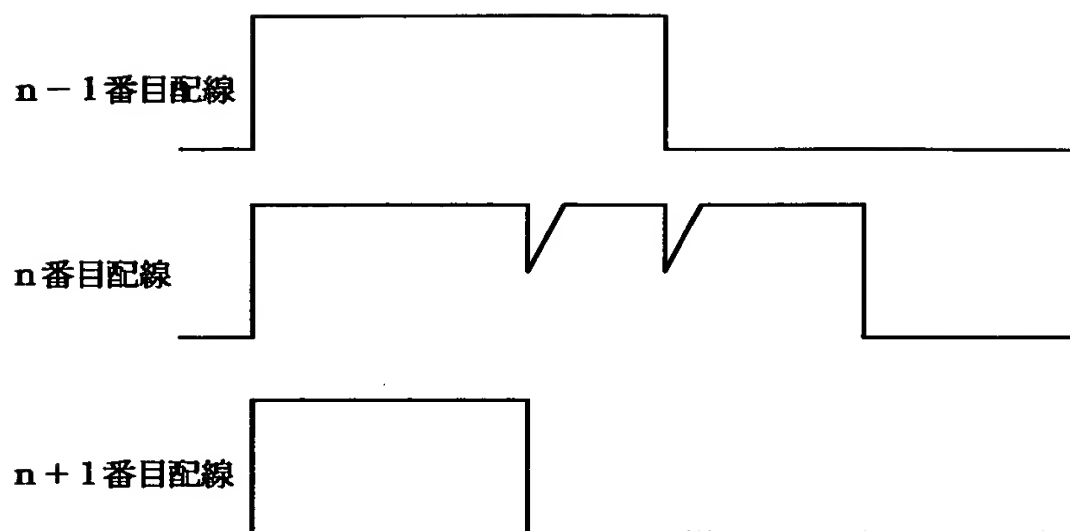
【図 1 9】



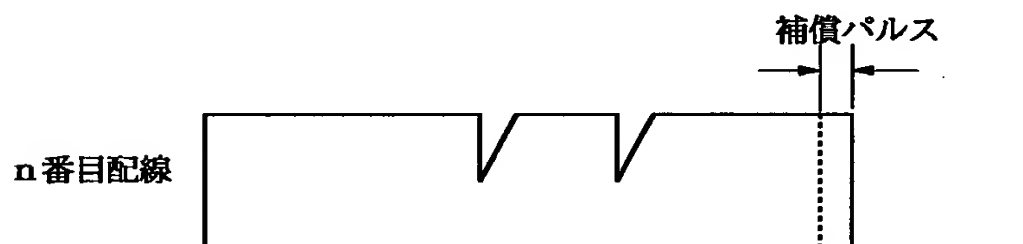
【図 2 0】



【図 2 1】



【図 2 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 画像表示装置の配線間での干渉による信号の乱れによる影響を抑制する。

【解決手段】 複数の配線と、該複数の配線それぞれによって信号がそれぞれ印加される複数の表示素子と、前記信号を発生する信号回路とを有しており、前記信号回路は、各配線の隣接配線に印加される信号のハイレベル期間の長さに応じて補正されたハイレベル期間の長さに応じて、または、前記ハイレベル期間内における隣接配線に印加される信号のレベル変化の回数に応じて、または、各配線に対して隣接配線に印加される信号のレベル変化による輝度変化を抑制するように、補正されたハイレベル期間の長さを有する信号を出力する。好適には、クロストーク補正部 1 3 にて、隣接配線の輝度信号 S 1 8 及び S 1 9 に基づいて、d 端子に入力される自配線の輝度信号 S 1 7 の補正を行う。

【選択図】 図 2

認定 - 付加情報

特許出願の番号	平成 1 1 年 特許願 第 3 6 6 6 2 4 号
受付番号	5 9 9 0 1 2 6 1 2 4 7
書類名	特許願
担当官	第二担当上席 0 0 9 1
作成日	平成 1 2 年 1 月 6 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000001007
【住所又は居所】	東京都大田区下丸子 3 丁目 3 0 番 2 号
【氏名又は名称】	キヤノン株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100086287
【住所又は居所】	東京都港区虎ノ門 2 丁目 8 番 1 号 虎ノ門電気ビル 伊東内外特許事務所
【氏名又は名称】	伊東 哲也

【選任した代理人】

【識別番号】	100103931
【住所又は居所】	東京都港区虎ノ門 2 - 8 - 1 虎ノ門電気ビル伊東内外特許事務所
【氏名又は名称】	関口 鶴彦

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 1 0 0 7]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 8 月 3 0 日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区下丸子 3 丁目 3 0 番 2 号
氏 名 キヤノン株式会社